

授業科目名	栄養	担当者	中司 純子
単位	—		
時間数	36時間	学年	1学年
授業形態	講義	開講時期	前期
授業の到達目標	生存するために必要な栄養とその働き、また栄養素の消化・吸収・代謝について学び、疾患による栄養補給の特徴について理解する。		
授業の概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 食生活について</li> <li>2. 栄養素のはたらき</li> <li>3. 栄養素の消化・吸収・代謝</li> <li>4. エネルギーの摂取と消費</li> <li>5. 病院食</li> <li>6. 食事療法</li> <li>7. 特殊栄養法</li> </ol>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第1章 食生活・栄養と看護</li> <li>2. 第2章 栄養素の種類とはたらき(タンパク質・脂質)</li> <li>3. 第2章 栄養素の種類とはたらき(糖質・食物繊維)</li> <li>4. 第2章 栄養素の種類とはたらき(ビタミン・ミネラル・水)</li> <li>5. 第3章 栄養素の消化・吸収・代謝(消化器系の機能)</li> <li>6. 第3章 栄養素の消化・吸収・代謝(食物摂取と消化・吸収・代謝)</li> <li>7. 第4章 エネルギーの摂取と消費(食品のエネルギー)</li> <li>8. 第4章 エネルギーの摂取と消費(体内のエネルギー、エネルギー消費)</li> <li>9. 第5章 病院食</li> <li>10. 第6章 食事療法 (循環器疾患)</li> <li>11. 第6章 食事療法 (消化器疾患)</li> <li>12. 第6章 食事療法 (腎臓疾患)</li> <li>13. 第6章 食事療法 (栄養・代謝疾患)</li> <li>14. 第6章 食事療法 (その他)</li> <li>15. 第7章 特殊栄養法(経腸栄養法)</li> <li>16. 第7章 特殊栄養法(静脈栄養法)</li> <li>17. 日本人の食事摂取基準</li> </ol>		
テキスト	新看護学3 専門基礎〔3〕 医学書院		
評価の方法・基準	筆記試験(100点)		